

# 半導体漫遊記 (151)

## 湯之上隆

2016年末に発売した東芝の原子力事業の巨額損失は、7000億円規模に膨らんだ。1450億円を見込んでいた2017年3月期の利益が赤字に転落するのはもちろんのこと、この利益と約3600億円の自己資本を合わせても、このまま行けば債務超過に陥ることは決定的である。

そこで東芝は、唯一のNANDフラッシュ事業を分社化し、新会社を立ち上げ、その株の売却益によって債務超過を回避すること

検討している。その

傘下の長江ストレージ(XMC)は、昨年突如、電子の技術者を高年俸

他、10社ほどの事業会社を買収に関心を示しているが、その中国の紫光集団が含まれている。

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその

## 東芝のNANDフラッシュ分社化

# 中国の買収は米が阻止

「中国IC産業ファンド」を後ろ盾に、世界の半導体企業を爆買しようとしている。東芝とNANDを買いたいとしてい

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその

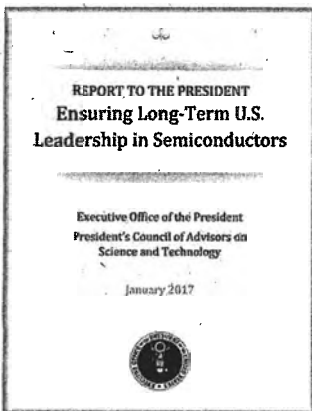


図1 ホワイトハウスが公開したリポート (2017年1月7日)

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその

長)

紫光集団は、「2020年までにインテルとサムスン電子に次ぐ世界シェア3位を目指す。紫光集団とその